

腸内環境を整えるための「乳酸菌パウダー」

※この解説書をご熟読のうえご使用ください

「急な病気になりにくい身体」「持ち前の免疫力を発揮できる、基礎体力のある身体」をつくるために、日頃からやっておくべきこととは何でしょう？

病原体や異物と最初に出会う場所の1つは、消化管の粘膜です。消化管の粘膜は、食べものや呼吸などで体外から取り込まれた様々の物質を身体にとって良いものは取り込み、必要ないものは、排除、無視・無応答することで生体防御機能を担っています。

ですから、腸粘膜は、身体全体の免疫力を発揮する点において極めて重要な部位であり、防御機構の最前線なのです。身体が外敵の侵入に対応しやすい状態になる＝急な体調不良になりにくい身体づくりのために、日頃から乳酸菌を摂取して腸内環境を整えておくことが望ましいと考えております。

■準備するもの

- ◆嫌がらずに飲む液体 5 ～ 20mL 程度 (水・栄養スープの素・豆乳など。牛乳は避ける)
※豆乳は乳酸菌を育てるのに良いとの事なのでおすすめです。お水が苦手な子は、栄養スープの素がおすすめです。
- ◆口内ケア用乳酸菌パウダー
※下記の量を 1 日何回かに分けて与えていただくのが良いのですが、どうしても無理なら 1 回でも大丈夫です。

小型犬・猫 / 大さじ 1 杯 (約 5 g)

中 型 犬 / 大さじ 2 杯

大 型 犬 / 大さじ 3 杯

■投与方法

- まず、液体を 2.5 ～ 10mL を摂取させて、胃酸を薄める。
- 残りの液体に乳酸菌パウダーをまぜて与える。
- 最初に水分を与えるのが難しければ、半量または与えなくても可。
- 乳酸菌パウダー摂取後、10 分は食べ物を与えない。(できれば 30 分以上与えない)
- 夜、寝る前に与えるのも良い。その場合、食後 6 時間以上 (が理想的)、最低でも 2 時間経過しているのが望ましい。
- 夜、濃厚クマ笹エキスやマウスリセットで口内除菌をした後に与えると、なお良い。

- ◆自ら進んで液体や乳酸菌パウダーを飲んでくれない場合は、シリンジで飲ませてください。
それでも難しい場合は、少量の食べきれる量のご飯に乳酸菌パウダーを混ぜて与えてください。
- ◆乳酸菌を腸内に定着させやすくするために、食物繊維 (可溶性、不溶性共に) の摂取をおすすめします。
- ◆熱に弱い乳酸菌もあるため、温かい飲み物には入れないでください。
- ◆発酵食品や植物発酵エキスと一緒に摂取するとさらに効果があがります。

腸内環境を整えるための「乳酸菌パウダー」

乳酸菌パウダーの量によっては、便が緩くなる場合があります。
最初は少なめに与えるか、便が緩くなった場合は乳酸菌パウダーの量を減らすなど、
よく便の状態を観察しながら加減をしてください。

同じ量を与えていても、その日の体調により便が硬くなったり緩くなったりする場合があるようですので、
腸内環境が整うまでは多少の試行錯誤が必要です。

便の状態が変わらない→乳酸菌パウダーを増やす、発酵食品や食物繊維を増やしてみる。
便が緩くなった→乳酸菌パウダーの量を減らして様子を見る、1日数回に分けて与えてみる。

投与期間に決まりはありません。様子をみながら臨機応変に対応してください。
1日で変化を感じる子もいれば、時間をかけて変化する子もいます。



内容量：50g / 100g

原材料：複数種ブレンド乳酸菌

保存期間：開封後は、消費期限にかかわらず半年以内にご使用ください。(未開封の場合は1年)

腸内環境を整えるための「乳酸菌パウダー」

50g : 3,000 円 (税込)
100g : 4,500 円 (税込)

ご注文は、わダーランドECサイトへ

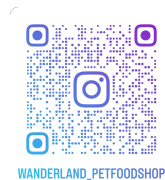
本店サイト



楽天市場サイト



Instagram



WANDERLAND_PETFOODSHOP